

無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]
標準施工仕様

| 工程 | 材料 | 調合(重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間(23℃) | 可使時間(23℃) | |
|--------|---|-----------|-------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------|-----------|--|-------|
| 1.素地調整 | <<屋根>>①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に取り除いてください。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いてください。洗浄後は十分に乾燥してください。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃してください。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去してください。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工してください。<<外壁>>①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理してください。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。 | | | | | | | | |
| 2.下塗り | 無機有機ハイブリッドEPO [水性タイプ] | 主剤 硬化剤 | 14kg 1kg | 0.10~0.16 (kg/m ² /回) | 93~150 (m ² /セット/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1~2回 | 上塗り水性 4時間以上 7日以内 上塗り弱溶剤 16時間以上 7日以内 | 5時間以内 |
| | 清水 | | 0~10% | | | | | | |
| 3.上塗り | ・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工してください。※注：弊社までご相談ください。 | | | | | | | | |

●無機有機ハイブリッドEPO [水性タイプ]

(水性2液反応硬化形超付着シーラー)

■荷姿

15kgセット 主剤：14kg
硬化剤：1kg

■色

・透明 ・ホワイト

■適用基材

- ・窯業系サイディング ・無機系、光触媒サイディング ・金属サイディング ・押出成形セメント板 ・モルタル ・コンクリート ・PC板 ・ALC ・アルミニウム
- ・住宅用化粧スレート ・波型スレート ・セメント瓦 ・乾式洋瓦 ・釉薬瓦 ・アスファルトシングル ・FRP樹脂 ・硬質塩ビ ・木部 ・旧塗膜 ・ステンレス等

注意
事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- ・無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]は水性塗料のため初期攪拌では硬化剤がなじみにくいため、調合する際は必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌してください。また、調合後は30分程度静置させてください。攪拌、静置が不十分だとハジキや付着不良の原因となる場合があります。
- ・乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認した上で無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]を2回塗りしてください。
- ・アスファルトシングルに塗装する場合は、水性上塗り材をご使用ください。
- ・無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]を塗布後は十分に間隔時間を厳守してください。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]の塗り回数を増やし固着してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合 (重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間 (23℃) | 可使時間 (23℃) | |
|--------|--|------------|-----------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------|---------------|---------------|-------|
| 1.素地調整 | <<屋根>>①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去してください。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて除去してください。洗浄後は十分に乾燥してください。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃してください。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去してください。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工してください。<<外壁>>①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で除去してください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理してください。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。⑥雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。 | | | | | | | | |
| 2.下塗り | 無機有機ハイブリッドEPO [油性タイプ] 無希釈 | 主剤 硬化剤 | 13.5kg 1.5kg | 0.10~0.16 (kg/m ² /回) | 93~150 (m ² /セット/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1~2回 | 6時間以上 7日以内 | 6時間以内 |
| 3.上塗り | ・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工してください。※注：弊社までご相談ください。 | | | | | | | | |

●無機有機ハイブリッドEPO [油性タイプ]

(油性2液弱溶剤形エポキシ超付着シーラー)

■荷姿

15kgセット 主剤: 13.5kg
硬化剤: 1.5kg

■色

・透明 ・ホワイト

■適用基材

- ・窯業系サイディング ・無機系、光触媒サイディング ・金属サイディング ・押出成形セメント板 ・モルタル ・コンクリート ・PC板 ・ALC
- ・住宅用化粧スレート ・波型スレート ・セメント瓦 ・乾式洋瓦 ・釉薬瓦 ・カラー鋼板 ・フッ素鋼板 ・ガルバリウム鋼板 ・塩ビ鋼板
- ・FRP樹脂 ・硬質塩ビ ・木部 ・鉄部 ・電気垂鉛メッキ ・アルミニウム ・ステンレス 等



注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・無機有機ハイブリッドEPOは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- ・無機有機ハイブリッドEPOを調合する際は、必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌してください。攪拌が不十分な場合、上塗りが撥き肉割れを起こします。
- ・乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認した上で無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- ・無機有機ハイブリッドEPOを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入ってください。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、無機有機ハイブリッドEPOの塗り回数を増やし固着してください。
- ・無機有機ハイブリッドEPOは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合(重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間(23°C) | 可使時間(23°C) |
|--------|--|---------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------|-----|------------|------------|
| 1.素地調整 | ①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC, SP3, ISO St3)程度まで除錆してください。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行ってください。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取ってください。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6カ月以上放置し表面光沢を消失されるか、或いはリン酸処理等してから塗装してください。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工してください。 | | | | | | | |
| 2.下塗り | 防錆プライマーpro 清水 | 16kg 0~10% | 0.12~0.18 (kg/m ² /回) | 88~133 (m ² /セット/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1回 | 4時間以上 | - |
| 3.上塗り | ・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工してください。※注：弊社までご相談ください。 | | | | | | | |

●防錆プライマーpro

(水性1液反応硬化形防錆プライマー)

■荷姿

16kg/缶

■色

グレー

■適用基材

・鉄部 ・ステンレス ・アルミニウム ・亜鉛メッキ鋼板 ・旧塗膜 ・焼付鋼板



注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・さびが残った面へ塗装した場合、点さびが浮き出る可能性がありますので、さびの除去は入念に行ってください。
- ・防錆プライマーproの塗布量が少ない場合、防錆機能が低下しますので、必ず所定の所要量を守って施工してください。
- ・乾燥が早いので、施工中も施工用具は液中に漬けて置くなど乾燥に注意してください。
- ・油分などの付着物は完全に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度75%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・被塗物温度が50°C以上の場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

フィルメイク
標準施工仕様

| 工程 | 材料 | 調合(重量) | 施工用具 | 所要量 | 塗布面積 | 塗回数 | 間隔時間(23°C) | 可使時間(23°C) |
|--------|---|--------|--------------|-----------------------------------|--------------------------------|-----|------------|------------|
| 1.素地調整 | ①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理してください。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。 | | | | | | | |
| 2.下地調整 | フィルメイク | 16kg | 中毛ローラー 刷毛 | 0.3~0.6 (kg/m ² /回) | 26~53 (m ² /缶/回) | 1回 | 6時間以上 | - |
| | 清水 | 2~8% | 多孔質ローラー | 0.8~1.0 (kg/m ² /回) | 16~20 (m ² /缶/回) | | | |
| 3.上塗り | ・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工してください。※注：弊社までご相談ください。 | | | | | | | |

●フィルメイク

(水性1液形微弾性フィラー)

■荷姿

16kg/缶

■適用基材

- ・コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁
- ・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

(注：旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)



注意
事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けてください。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物とし処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合 (重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間 (23°C) | 可使時間 (23°C) |
|--------|---|------------|--|--|--------------|-----|----------------|----------------|
| 1.素地調整 | ①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理してください。④雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑤塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。 | | | | | | | |
| 2.下塗り | クオリティマルチサーフ 無希釈 | 15kg | 屋根 0.3~0.8 (kg/m ² /回) 外壁 0.2~0.5 (kg/m ² /回) | 18~50 (m ² /缶/回) 30~75 (m ² /缶/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1回 | 24時間以上 | - |
| 3.上塗り | ・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工してください。※注：弊社までご相談ください。 | | | | | | | |

●クオリティマルチサーフ

(水性1液形特殊シリコン樹脂サーフェーサー屋根・外壁用)

■荷姿

15kg缶

■適用基材

サイディングボード・コンクリート・モルタル・一般外壁・
スレート瓦・セメント瓦・アスファルトシングル(水性上塗材限定)
※モニエル瓦、スカンジア瓦、陶器瓦には別途適用下塗材を
塗布してからクオリティマルチサーフを施工して下さい。

■適用上塗材

水性系塗料、弱溶剤系塗料



注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使ってください。
- ・クオリティマルチサーフは無希釈でご使用ください。
- ・クオリティマルチサーフの施工後、上塗材は必ず翌日以降に塗装してください。
- ・一度に厚付けすると乾燥過程でひび割れる恐れがあります。
- ・シーリング材の上に施工することは避けてください。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合 (重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間 (23℃) | 可使時間 (23℃) | |
|--------|--|--------------------|-----------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------|---------------|----------------|-------|
| 1.素地調整 | ①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆してください。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行ってください。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取ってください。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されているか、或いはリン酸処理等を施してから塗装してください。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工してください。 | | | | | | | | |
| 3.中塗り | メタルガードエポ2 PXシンナー | 主剤 硬化剤 4~10% | 14.4kg 1.6kg | 0.15~0.18 (kg/m ² /回) | 88~106 (m ² /セット/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1回 | 16時間以上 7日以内 | 5時間以内 |
| 4.上塗り | 上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。 上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工してください。※注:弊社までご相談ください。 | | | | | | | | |

●メタルガードエポ2

(油性2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

■荷姿

16kgセット 主 剤: 14.4kg
硬化剤: 1.6kg

■色

・ホワイト
・ブラック

■適用基材

鉄、ステンレス、亜鉛メッキ鋼板、アルミ(A1050P)
FRP板、旧塗膜、焼付鋼板、他

注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・メタルガードエポ2は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- ・メタルガードエポ2を塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入ってください。
- ・メタルガードエポ2は、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地の乾燥を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬季は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物とし処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合(重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間(23°C) | 可使時間(23°C) |
|--------|---|--------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------|-----|------------|------------|
| 1.素地調整 | ①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理してください。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。 | | | | | | | |
| 2.下塗り | マルチ浸透シール 無希釈 | 15kg | 0.1~0.2 (kg/m ² /回) | 75~150 (m ² /缶/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1回 | 4時間以上 | - |
| 3.上塗り | ・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工してください。※注：弊社までご相談ください。 | | | | | | | |

●マルチ浸透シール

(水性1液浸透形カチオンシーラー)

■荷姿

15kg缶

■色

透明

ホワイト

■適用基材

コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード

吹付タイル・スタッコ・リシン・等



注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使ってください。
- ・マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- ・マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入ってください。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置してください。
- ・シーリング材の上に施工することは避けてください。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合 (重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間 (23℃) | 可使時間 (23℃) | |
|--------|---|------------|-------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------|---------------|---|-------|
| 1.事前診断 | 新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認してください。 | | | | | | | | |
| 2.素地調整 | ①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤーブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にしてください。③チョーキングが多い面には施工できません。④下地の裏面に微細なヒビ割れが生じている場合は本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じる事がありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。⑦塗装面周辺は汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全に養生してください。 | | | | | | | | |
| 3.下塗り | クリヤベースハイパー [水性タイプ] | 主剤 硬化剤 | 14kg 1kg | 0.10～0.15 (kg/m ² /回) | 100～150 (m ² /セット/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1回 | 上塗り水性 4時間以上 7日以内 上塗り油性 16時間以上 7日以内 | 6時間以内 |
| | 清水 | | 0～6% | | | | | | |
| 4.上塗り | ウルトラクリヤー、クリスタルコート、タテイル美館、タテイル美館アクア、タテイルα美館(弾性)、他 ※各製品の仕様書に準じて上塗りを2回施工してください。 | | | | | | 2回 | | |

●クリヤベースハイパー [水性タイプ]

(水性2液形意匠サイディング用高付着プライマー)

■荷姿

15kgセット 主剤: 14kg

硬化剤: 1kg

■適用基材

・窯業系サイディング全般 ・無機系、光触媒サイディング ・金属サイディング



注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]は初期攪拌では硬化剤がなじみにくいため、調合する際は必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌してください。また、調合後は30分程度静置させてください。攪拌、静置が不十分だとハジキや付着不良の原因となる場合があります。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]の塗布後、各種上塗材(クリヤー製品)は必ず2回塗りしてください(全3工程)。
- ・素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けてください。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]を上塗材として使用することは避けてください。
- ・上塗材に艶調整品を施工する場合は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意してください。
- ・上記の記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- ・チョーキングが目立つ下地には塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- ・シーリング面に塗装する場合は、変色、汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。
- ・弱溶剤形の上塗材は取扱いの際は火気に注意し、消防法および労働安全衛生法を厳守してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合には、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・直射日光を避け、通風のよいところで保管してください。また施錠し、子供の手の届かないところに保管してください。
- ・材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
- ・塗装後は手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中、塗装後は充分換気を行ってください。
- ・眼に入った場合には直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水及び石鹼で充分に洗い落とし、外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合は医師の診断を受けてください。
- ・臭い、蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息してください。症状が改善されない場合は、医師の診断を受けてください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合 (重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間 (23℃) | 可使時間 (23℃) | |
|--------|---|-------------------|-----------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-------|
| 1.事前診断 | 新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認してください。 | | | | | | | | |
| 2.素地調整 | ①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤーブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にしてください。③チョーキングが多い面には施工できません。④下地の裏面に微細なヒビ割れが生じている場合は本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じる事がありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。⑦塗装面周辺は汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全に養生してください。 | | | | | | | | |
| 3.下塗り | クリヤベースハイパー [油性タイプ] PXシンナー | 主剤 硬化剤 0～3% | 14.0kg 4.0kg | 0.12～0.14 (kg/m ² /回) | 128～150 (m ² /セット/回) | 刷毛 中毛ローラー | 1回 | 4時間以上 7日以内 | 4時間以内 |
| 4.上塗り | グラスエージクリスタルコート、タテイル美館、タテイル美館アクア、ウルトラクリヤー、タテイルα美館プレミアムエディション、タテイルα美館弾性プレミアムエディション、他 ※各製品の仕様書に準じて施工してください。 | | | | | | 1回 | | |

●クリヤベースハイパー [油性タイプ]

(油性2液弱溶剤形意匠サイディング用高付着プライマー)

■荷姿

18kgセット
主剤: 14.0kg
硬化剤: 4.0kg

■適用基材

・光触媒サイディング ・無機系サイディング
・焼付金属サイディング ・意匠サイディング全般



注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使ってください。
- ・素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けてください。
- ・クリヤベースハイパー[油性タイプ]を上塗材として使用することは避けてください。
- ・上塗材に艶調整品を施工する場合は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意してください。
- ・上記の記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・製品は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- ・混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- ・チョーキングが目立つ下地には塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- ・シーリング面に塗装する場合は、変色、汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。
- ・弱溶剤形製品は取扱いの際は火気に注意し、消防法および労働安全衛生法を厳守してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合には、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・直射日光を避け、通風のよいところで保管してください。また施錠し、子供の手の届かないところに保管してください。
- ・材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
- ・塗装後は手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中、塗装後は充分換気を行ってください。
- ・眼に入った場合には直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水及び石鹸で十分に洗い落とし、外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合は医師の診断を受けてください。
- ・臭い、蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息してください。症状が改善されない場合は、医師の診断を受けてください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。

| 工程 | 材料 | 調合 (重量) | 所要量 | 塗布面積 | 施工用具 | 塗回数 | 間隔時間 (23°C) | 可使時間 (23°C) |
|----------------|---|------------|-----|------|------|-----|-----------------|----------------|
| 1.素地調整 | シーリング材メーカーの仕様書と養生期間を守って施工してください。 | | | | | | | |
| 2.クラック 抑制処理 | クラロックシーラー 無希釈 | 1.0kg | 適量 | - | 目地刷毛 | 1回 | 4時間以上 16時間以内 | 開封より 6時間以内 |
| 3.塗装 | ・塗装工程に入る際は、必ずクラロックシーラーを塗布した当日中に下塗材を施工してください。 ・上塗材は各標準施工仕様に準じて施工してください。 | | | | | | | |

●クラロックシーラー

(油性1液強溶剤形クラック抑制シーラー)

■荷姿

1.0kg/缶

■適用基材

ポリウレタン系シーリング、変成シリコン系シーリング

注意 事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・クラロックシーラー塗布後は必ず当日中に下塗材を施工してください。
- ・炎天下で施工すると硬化が早く、下塗材が層間剥離を起こす可能性があります。
- ・クラロックシーラーは強溶剤製品ですので脆弱な塗膜に付着しないようご注意ください。
- ・クラロックシーラーはシーリング上部への下地専用シーラーです。屋根や外壁への施工は避けてください。
- ・クラロックシーラーは開封後1缶使い切りとなります。
- ・シリコン系シーリングへの施工は避けてください。
- ・塗ムラ・かすれ・塗り忘れがないように、しっかりと塗装してください。
- ・強溶剤形製品は取扱いの際は火気に注意し、消防法および労働安全衛生法を厳守してください。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護眼鏡・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。